

# みき通信

くぼたみき 活動報告

第25号 2012年11月25日

発行 がんばれ くぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

## 報道に異議あり！

11月11日（日）午後、反原発大占拠行動が東京永田町、霞が関周辺を中心に全国各地で行われたのをご存知ですか？。

**がんばれくぼたみきの会**からも参加しましたが、首相官邸前、厚生労働省前など各所で抗議行動の後、雨の中を国会前大集会に移動し、たいへんな人の波でした。

若い要員の人たちや家族連れの様子が励まされ、官邸前に響き渡る「原発はいらない」の声、太鼓の音を聞きながら、どんなに時間がかかっても、この声が届くまで頑張らなければと元気をもらってきました。

述べ10万人参加というほどの大きな集会、行動でありながら、ニュースを見た人の話では放送はほんのわずかな時間だったとのこと。しんぶん赤旗は、様々な角度から記事にしていますが、神奈川新聞はまったく無視、他の新聞やテレビの報道はどうだったでしょうか？。

民主党、自民党に代わる第3極として同じような人物を何度も登場させる一方で、原発という命に係わる問題に反対する大きな行動を無視するメディア。

私たちはいつでも自分で考え判断していると思っていますが、実は判断材料そのものが一部に限定されたもので、公正とは言えないのです。

大事な選挙を前に、共産党だからと決めつけしないで、“しんぶん赤旗”を一度手に取ってみてはどうでしょうか。さまざまな問題を深く丁寧に取り上げていて、読みごたえがあり、子育てや福祉関連の記事も充実している新聞としてお勧めします。

## 町民のご要望を予算要求しました。

くぼたみき

もうクリスマスイルミネーションが点灯する季節となりました。未だに復興も原発事故の収束の見通しも立っていませんが、「原発なくせ」の世論は、毎週、官邸前集会などかつてなく広がり、「原発即時ゼロ」を求めています。

今年の暑い夏も、「計画停電」は一度もなく、大飯原発の再稼働は必要なかったことが明らかになったにも関わらず、今度は、暖房に電力が必要な北海道を例にあげ、更なる再稼働をいったり、電気料金の値上げで脅しをかけるとは。

年金削減や所得減の中、介護保険料、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料の値上げなどが加わりました。平均賃金も年金も下がり続ける中で消費税増税、社会保障は削減するこんな政治でいいのでしょうか。地方自治体は、くらしと地域経済を守る使命をいまこそ発揮すべきです。

11月22日葉山町共産党議員団として、山梨町長と会談し**予算要望書を提出**しました。

議会でも常に改善を求めているものですが・小児医療費助成の対象年齢の引き上げ・保育園の待機児童を、児童のすし詰め化が懸念される国の規制緩和ではなく、保育園の増設も考慮した待機児童の解消・高すぎる国民健康保険料の引き下げ・中学校給食の実施・消防職員の増員と防災無線の更新と改善・津波対策として、裏山等への避難路と避難場所を整備・原発事故に対して、三浦半島活断層群による地震発生確率増大の報道などにより、原発への不安が広がっており原子力空母の横須賀配備撤回を国に求めること等です。

さらに「神奈川臨調」見直しの動きを受けて、実施され他場合、町民生活に大きな影響を及ぼすことから、町民の生活を守るために、町として実施しないよう県に強く求めること、も含めました。

要望したからと言って、即、改善されるというものではありませんが、町長とは別の視点からの声を届けることにより町民生活優先の予算編成をされるよう要請し、予算要望書を提出しました。

今後も逐次、皆様のご要望を取り上げ、町へ届けたいと思います。